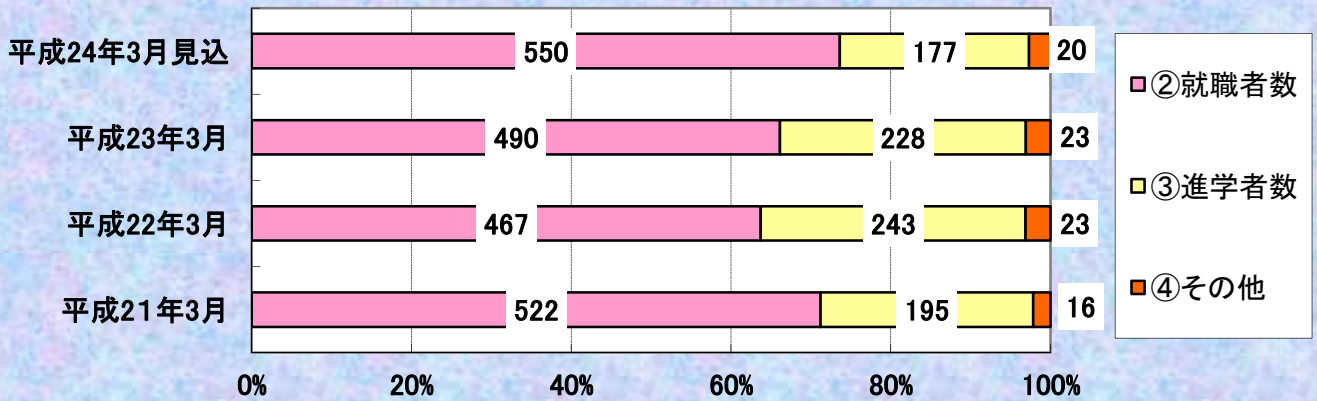


平成23年度 進路状況調査 集計表
(愛知県内 建設系高校生)

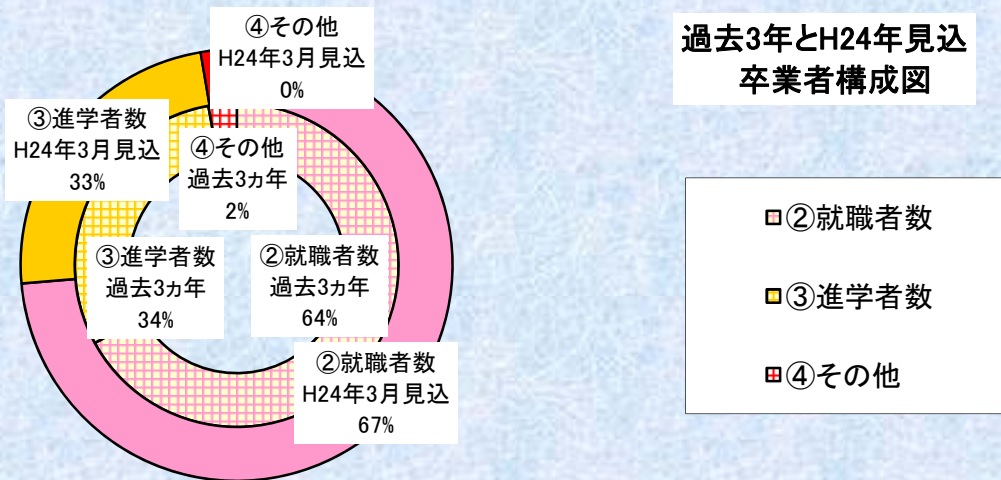
1. 卒業生の進路状況

	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月見込	過去3ヵ年構成割合
① 卒業生数	727	737	741	744	100.00%
② 就職者数	522	467	490	550	67.07%
③ 進学者数	195	243	228	177	30.20%
④ その他	16	23	23	20	2.81%

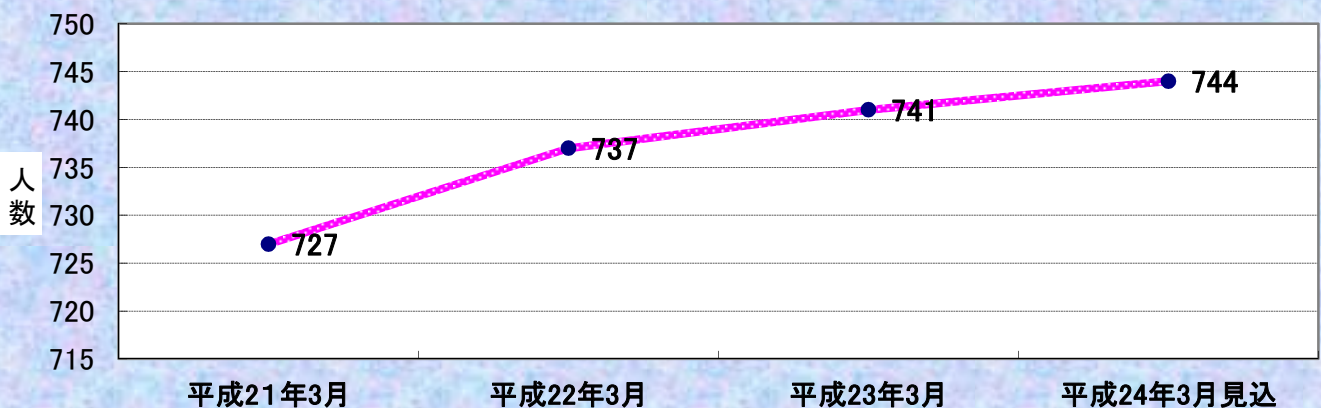
4年間の卒業生内訳の動向



過去3年とH24年見込 卒業生構成図



卒業生数の変動

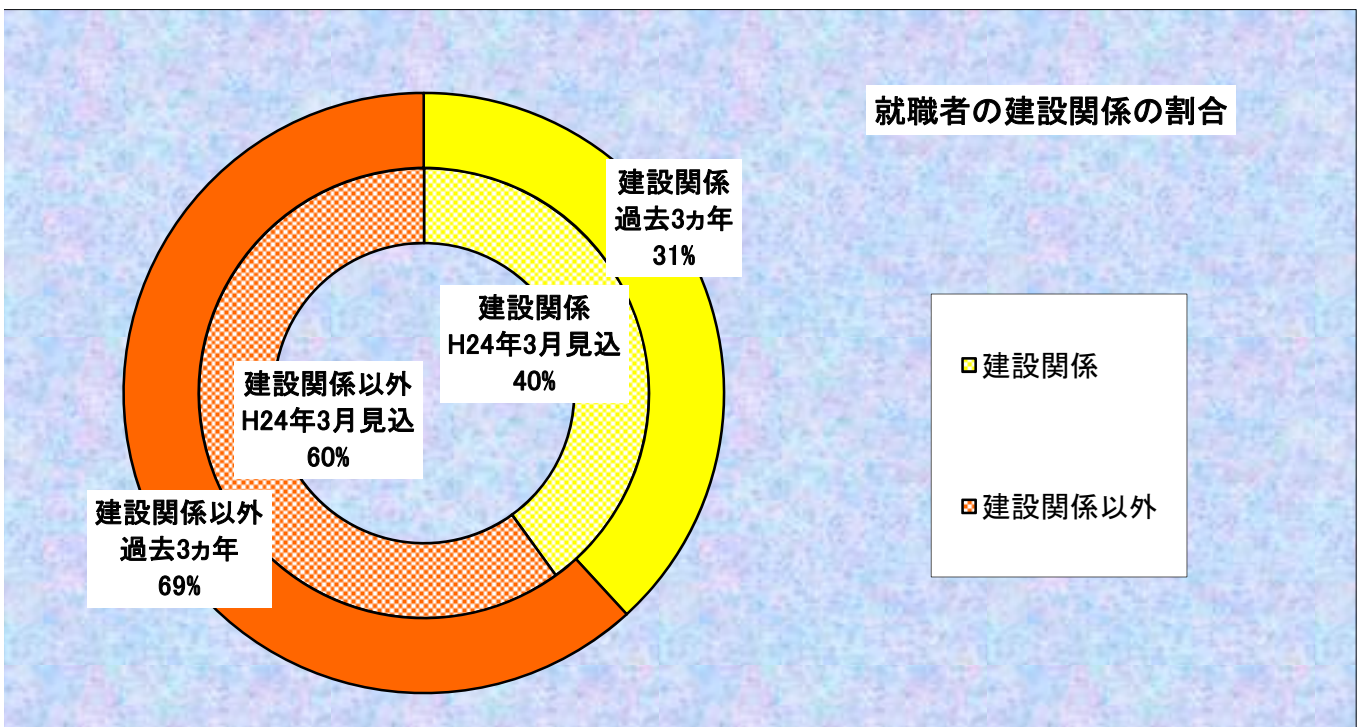
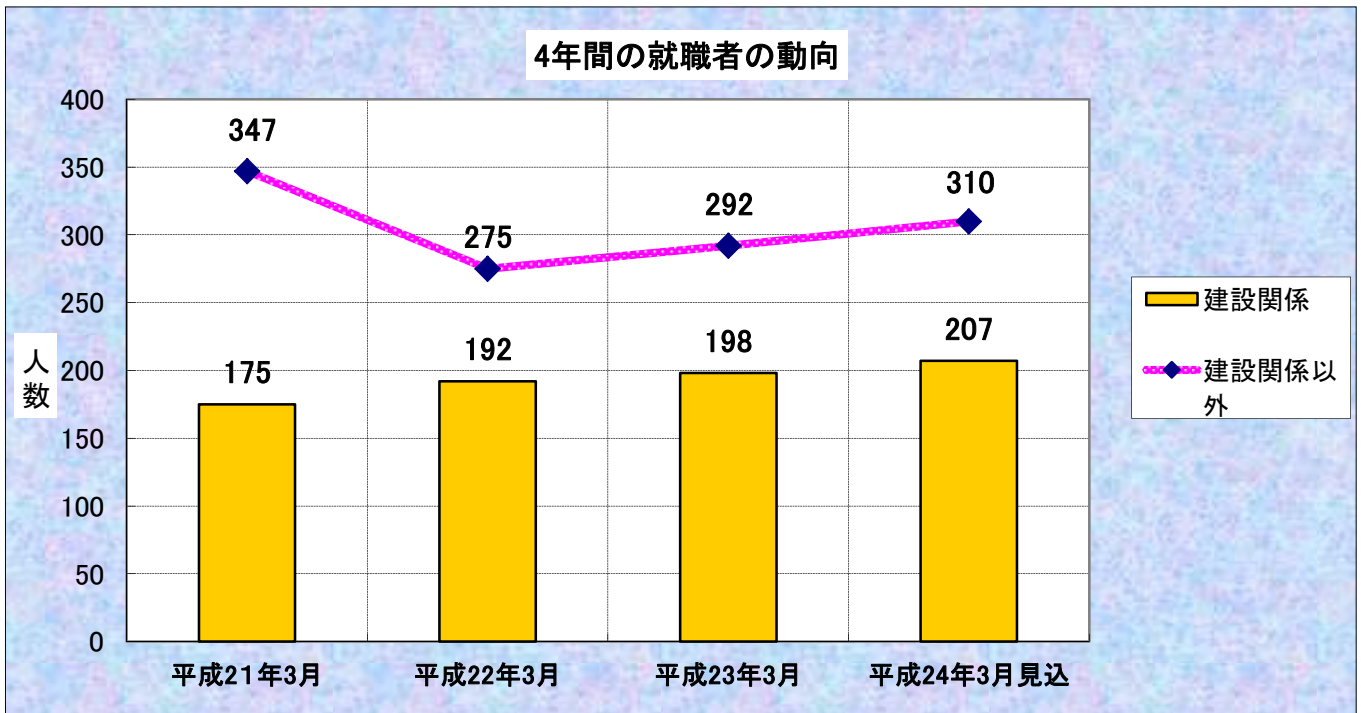


平成23年度 進路状況調査 集計表
(愛知県内 建設系高校生)

2. 1の②の就職先

	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月見込	過去3ヵ年構成割合
建設関係	175	192	198	207	38.20%
建設関係以外	347	275	292	310	61.80%

過去3ヵ年の卒業者数	2,205	過去3ヵ年の進学者数	666
過去3ヵ年の就職者数	1,479	過去3ヵ年のその他数	62
過去3ヵ年の建設関係に就職	565	過去3ヵ年の建設関係以外に就職	914



平成23年度 進路状況調査 集計表
(愛知県内 建設系高校生)

3. 平成23年3月卒業者の求人・求職に関するコメント

- ・ ここ数年の愛知県建設業協会のご尽力により、建設業関係への就職を考えている生徒は、実際の数字以上に感じている。しかし、管理する基礎学力(人間力)を備えた生徒を多数輩出できていないのが現実である。よって専門工事業のような技を身につける職種への求職も積極的に行っている。
- ・ 厳しい時代背景の影響か、横ばいだった進学希望者、数増加した。増加傾向にあった建設関係への就職者数が、今年の3月、ついに過半数を超えた。生徒が自分の学んだ専門分野へと進学をとる喜ばしいことである。しかし、今年の3年生の希望は現段階では、再び建設関係以外が増えている。
- ・ 昨年度は建設系企業への就職を希望する生徒が多く、また保護者などの意見に左右されることなく本人の意志を貫こうとする強さを感じました。特に現場監督や大工を希望する生徒が多く、需要と供給のバランスがとれず苦勞しました。しかし何かと全員が希望する職種に就くことができたのは幸いでした。
- ・ リーマンショックの影響が色濃く出た昨年度の求人状況の中、本校建築システム科の生徒たちは希望する職につくことができました。現在のところ離職せず一生懸命働いているようです。今回の震災の影響で建材の不足から例年にない苦勞もあるようですが、職場環境に恵まれ精一杯がんばっております。
- ・ 7月末には、就職希望先が決りますので、求人情報はできるだけ早く、求人票は遅くとも7月中旬までにいただけるとありがたいです。7月中旬までに求人票が出ていないと、生徒が建設業を希望していても建設業には就職しないのが現状です。
- ・ 東三河地区の求人が少なく、建設業関係以外の就職や専門学校へ進路変更した生徒が多くなり残念でした。
- ・ 例年に比べて建設関係の希望者が多くおります。生徒は7月第2週までに、求人票を見て希望を決めていくため、早めの求人票をお願いいたします。
- ・ 建設関係の求人が少ない。将来的に建設産業の見通しがさだかでなく、求職する生徒が少ない。
- ・ 建設業を希望している生徒が多くいたが、建設業からの求人がなかなかいただけなくて、希望を諦めて製造業へ就職する生徒もいた。
- ・ トヨタ関連の求人が減り、ゴルフ場や造園会社へ就職する生徒が若干増えた。H23年度も同じ傾向になりそう。
- ・ 大変厳しい社会状況ではありますが、例年通り、それ以上の就職求人をお願いいたします。
- ・ 前年前より建設関係の求人数が減少し建設関係以外の就職を希望する生徒が増えました。
- ・ 大工職、鉄筋業、左官業、型枠大工などの職人を目指す生徒が増えてきております。

平成23年度 進路状況調査 集計表
(愛知県内 建設系高校生)

3. 平成23年3月卒業者の求人・求職に関するコメント

- ・ 建設関係の求人は少ない。(県内求人170人中6人)
- ・ 関連企業に就職したいと関心を持つ生徒が多い。
- ・ もう少し地元の求人先が増えると良いと思います。

4. 建設業界に対する今後の要望事項

- ・ 建設業の魅力を一般社会に発信していただきたい。東日本震災による建設業の役割は重大なものがあることは、誰でもわかっていると思う。しかし、なぜだか建設業が表に現れてこないと感じるのは私だけなのでしょうか。劣悪な環境で働く「自衛隊員」「白服の原発関連作業員」の姿は脳裏に焼き付いているのに、縁の下の力持ちの「建設業」はどのようにアピールしたらよいのでしょうか。工業高校が中学生に「建設業」をアピールする手だてと共通するような気がします。
- ・ ご支援本当にありがとうございます。せいとはこれからの経験をきっかけに建設業への興味を深め、どの業種も厳しい状況下で、建設業を選ぶ生徒が増えました。業界の負担は量り知れませんが、今後ともご支援よろしく願いいたします。厳しいと思いますが、若年者雇用の門戸を開け続けていただきたい。
- ・ インターンシップ、小型クレーン等の資格取得等でご支援いただきありがとうございます。これからの事業は生徒が建設業理解する上で有効な事業となっております。引き続きご支援をお願いします。
- ・ 企業訪問をさせてもらい、建設業界としても厳しい経済状況であるとは思いますが、新規採用者の求人枠を少しでも広げていただけたらと思う。建設業界に進みたい若者が求人がないために進路変更することは心苦しい。
- ・ トヨタ関連の状況から生徒が多くを事考えて、就職等の進路を選択するようになった。もう少しどのような仕事をするのかなど、インターンシップの活用(企業先の案内)や説明があると(早い段階で継続的に)生徒も多く希望する様子が見られる。
- ・ 建設業の魅力を高校生はもちろんのこと、中学生にもさらなる理解を深めていただきたい。(本校生徒は就業体験、職場見学を通してお世話になってます。)
- ・ 建設関係に就職を希望する生徒に対して、窓口を設けていただきたい。
- ・ 建設関係の求人数が増える事を希望します。
- ・ 今後も多くの求人が頂けると嬉しいです。
- ・ より多くの関連企業求人を期待している。

平成23年度 進路状況調査 集計表
(愛知県内 建設系高校生)

5. その他

- ・ 学校教育では、知ることのできない社会を、見学させていただける経験が、なによりも生きた教育となっています。学校で基礎・基本の力をつけて豊かな人間性をもって、社会に出られることが望ましいと考えますが、学校は狭い世界なので、連携していただくことが非常に効果となっています。ご迷惑をおかけすることばかりですが、よろしくお願いいたします。
- ・ 昨年度は建設業界との情報交換ができなかったことが非常に残念です。今の建設現場の現状や求めている人材などや、今の生徒は建設業に対してどんな考え方をしているのか等々、双方にとって得るものは大きかったと思います。7月から求人活動が始まります。その前に情報交換の場を設けて頂ければありがたいです。
- ・ 愛知県建設業協会の工業高校に対するご支援に感謝いたしております。いつまでも良好な関係が続き生徒たちに貴重な経験をさせてやりたいと思っております。今後とも宜しく願います。
- ・ 関係学科の数値のみ記入。平成22年度卒業生までは農業工学科(うち半数が環境工学コース)。平成23年度卒業生からは環境デザイン科(土木専攻1/2、造園専攻1/2)に学科変更。
- ・ 今年度の現場見学会にむけて生徒達ともども楽しみにしております。また、現場見学会や各種講習会など、今後とも工業教育活動のご支援よろしくお願いいたします。
- ・ 現場見学会等では現場との調整が難しい中、いつもお世話になり、ありがとうございます。
- ・ 今後も宜しく願います。